

平成 26 年 1 月 27 日

各位

株式会社 北陸銀行

富山大学・北陸銀行共同執筆テキスト

「事例とドリルで学ぶ企業総合分析」出版について

株式会社北陸銀行（頭取 庵栄伸）は、平成 17 年 3 月に国立大学法人富山大学（学長 遠藤俊郎）と「包括連携協定に関する覚書」を締結しています。その具体的連携事業として、このたび「事例とドリルで学ぶ企業総合分析」を出版する運びとなりました。同大学との共著は 3 冊目となります。

富山大学経済学部においては、平成 25 年度後期から当行による寄付講座「財務分析論」（担当：鈴木基史教授、森口毅彦教授）が開講されており、全 15 コマの講義において当行より役職員を講師として派遣いたしております。本書はこの講義の内容を収録し、本講座の講義用テキストとして位置付けているものであり、全 8 章にわたり当行役職員が執筆に携わりました。本書においては、事例とドリルを多く用いて企業分析に関する目利き力・コンサルティング力向上に資する内容となっております。

記

本テキストの特色

- (1) 経済学系の学生や、中小企業経営者、経営戦略担当者、財務担当者などの実務家を対象としたテキストです。
- (2) 業界動向、製品力、技術力、経営力などの定性分析手法や、企業の決算数値を多角的に分析する定量分析手法といった企業総合分析の手法を、事例やドリルを用いて解説しています。
- (3) 特に、一貫して一つのモデル企業（製造業）を定性・定量両面から多角的に分析し、各種分析手法を体系的に習得できる内容となっています。
- (4) 大学の「学術」「理論」と、銀行の「実務」「実践」を融合させたスタイルとなっています。また、当行の実務経験を活かし、事例紹介を充実させています。

以上

[本件に関する照会先]

北陸銀行 法人・公共営業部
産業調査部
Tel(076)-423-7111

「事例とドリルで学ぶ企業総合分析」目次

- 第1章 企業分析の基礎
- 第2章 実態把握手法（定性）
 - 1. 定性分析の基本
 - 2. 実地調査としての工場見学
- 第3章 実態把握手法（定量）
 - 1. 比率分析
 - 2. 損益分岐点分析
 - 3. 部門（セグメント）分析
 - 4. 趨勢（時系列）分析
 - 5. 同業他社比較
- 第4章 キャッシュ・フロー分析
 - 1. キャッシュ・フロー計算書
 - 2. 資金繰り表分析
- 第5章 投資効果の検証
 - 1. 投資計画とは
 - 2. 投資効果の検討
 - 3. NPV 投資判断
- 第6章 A社の総合分析
- 第7章 SWOT 分析について
- 第8章 粉飾決算
- 第9章 総合評価（事例研究）

以上